

こたえ しきに あう おはなし

はってん
発展 ③

1 「4+2」の しきに あう おはなしに ○を つけよう。

あ はとが 4わ いました。2わ とんで きました。

い はとが 4わ いました。2わ とんで いきました。

う あかい はなが 4ほん、しろい はなが 2ほん あります。

え あめを 2こ もって います。4こ たべました。

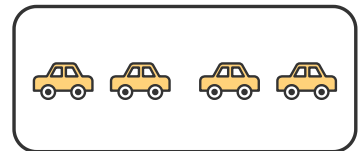
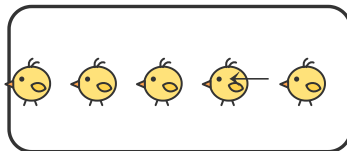
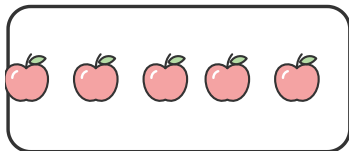
2 「5+3」の おはなしを つくろう。□に ことばや かずを かこう。

(れい) ねこ が 5 ひき います。 3 ひき きました。

みんなで 8 ひきに なりました。

ほかの ものでも いいよ。

3 えに あう しきを せんで むすぼう。



$4+1$

$2+2$

$3+2$

4 「6+3」の しきに あう おはなしに ○を つけよう。

か くるまが 6だい あります。3だい でて いきました。

き ねこが 6ぴき、いぬが 3ぴき います。

く かきを 6こ とりました。あとで 3こ とりました。

おうちの方へ

- ④の答え：き・く。①の答え：あ・う。「いきました」「たべました」はへる場面なので、たし算になりません（次の単元のひき算です）。
- ③の答え：りんご3こと2こ→3+2、ひよこ4わに1わきた→4+1、くるま2だいと2だい→2+2。